

令和5年度子ども議会(小学生の部・前半10校) 質問と答弁の要旨

議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	答弁要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再答弁要旨
1	大寄小学校	深谷市のおいしい水作りの工夫について	日本の水道水は世界と比べても安全に飲める水であり、その中でも深谷市の水道水は安全・安心に飲むことができると思います。そのような水がどのように私たちのところに届いているか詳しく知りたくになりました。市がおいしい水を提供するためにやっている工夫や取組について教えてください。	深谷市は北に利根川、南に荒川と日本を代表する大きな川が流れ、地下水がたくさんあるため、深谷市全体では水道水の約61%が深い井戸から汲んだ地下水から作られており、おいしい水を蛇口から味わうことができます。 日本は法律で51項目の水質基準が定められており、市ではこの基準に合った水道水を作るため浄水場で浄水処理を行っています。 そして、皆さんに届けている水道水が基準を満たしているか確認するため、専門機関での検査や市内37カ所の蛇口での水質測定、14カ所の自動監視装置で連続測定を行っています。 また、おいしい水作りのために地下水を汲む井戸の点検や清掃、水質測定結果による残留塩素の管理を行っています。 今後も、安全で安心な水道水を届けていきたいと思っています。	水道工務課	環境水道部		
2	明戸小学校	深谷市の災害発生時における避難(ハザードマップ等)について	今年の5月には、明戸小学校近くの河川敷で水防訓練が実施されました。昭和22年のカスリーン台風では、明戸地域も大きな被害を受けたと聞いています。市のハザードマップを見ると、いろいろな災害に備えた避難場所も載っています。市では、どのように災害予想を立て、避難場所やハザードマップを作成しているのですか。	市のハザードマップは、水害と地震の2つの災害を想定して作成しています。水害の災害予想については、およそ1,000年に1度の確率の大雨が降ったときを想定しています。これらの情報をもとに、市内で浸水が想定される地域の状況や避難する場所、避難のタイミングなどをまとめ、ハザードマップを作成しています。 また、地震の災害予想については、深谷市では「深谷断層」による地震が発生した場合に、最大で震度7の揺れが起きると想定されています。こうした地震が起きたときに、命を守るためにとるべき行動などもハザードマップに掲載し、市民の皆さんにお知らせしています。 ハザードマップには災害に対応する大切な情報を掲載しているので、住んでいる地域の危険箇所などをあらかじめ確認し、日頃から備えてもらいたいと思います。	総務防災課	総務部		
3	常盤小学校	市内の公園の環境整備について	公園遊具に使用禁止の貼紙がしてあったり、古くなって撤去された遊具を見かけることがあります。自宅近くの公園でも、アスレチック遊具が何年か前になくなってしまい残念に思っています。市内の公園で遊具が撤去された場所に、新たに遊具等を設置する計画はありますか。今後の公園遊具の設置について教えてください。	市では、専門技術者による公園遊具の安全点検を毎年実施しています。点検により破損箇所を確認した場合には、早急に修理を行いますが、修理が済むまでの間「使用禁止」にしたり、古くて部品が調達できない場合はやむを得ず「撤去」を行っています。 また、設置してから長い年数が経過している遊具は、その間に見直しされた安全基準に合わなくなってしまう場合もあり、「撤去」を行うこともあります。 公園遊具の設置について、公園ごとの個別計画はありませんが、公園利用者の安全を第一に考え、地域バランスや利用状況を見ながら、地元の方の意見を取り入れたうえで検討していきます。	公園緑地課	都市整備部	遊具を修理したり、わんぱくランドを活用したりして、体を使って遊べる遊具やクライミングを設置することはできませんか。 遊具を修理して使うことや、今ある場所を活用することはSDGsにもつながると思います。	クライミング設備は、どこの公園にも設置できるわけではなく、設置するための条件があります。 クライミングに限らず、今後、皆さんに喜んでもらえるような遊具を設置する計画をつくっていきたくと思います。 また、今年の5月に深谷市はSDGs未来都市に選定され、SDGsに関するさまざまな取組を行っています。 公園に関しては、遊具を大切に使うことがSDGsにつながるの、皆さんに呼びかけてもらえればと思います。
4	八基小学校	環境にやさしい活動について	総合的な学習の時間でSDGsについて学習し、エコライフにも取り組むなど、環境に興味があります。深谷市では、環境にやさしい取組を行っているようですが、安全でおいしい水を作ったり、汚れた水をきれいにして川や海に返したりするほかに、具体的にどのような活動をしているのですか。	深谷市では、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ ふかや」を令和3年に宣言しました。 さらに、市内で作った電気を市内で使う、エネルギーの地産地消を進めるため、市も協力して地域新電力会社「ふかやeパワー株式会社」を設立しました。「ふつかちゃんでき」で取り扱う電気の約80%は再生可能エネルギー由来のもので、多くの公共施設でも使っており、二酸化炭素を排出しない電気を活用した「青淵ゼロカーボンプラン」も提供しています。 また、市内全小中学校に埼玉県が実施している「エコライフ DAY & WEEK 埼玉」への参加をお願いし、温暖化対策に取り組んでいます。 このほかにも、多くの公共施設に太陽光発電システムの設置を進めているほか、市民のかたが自宅に省エネ設備を設置した場合に補助金を交付しています。また、地球温暖化の仕組みなどをわかりやすく解説した小学生向けの環境教育動画を制作し、市内の全小学校へ配布し、活用してもらっています。	環境課	環境水道部		

令和5年度子ども議会(小学生の部・前半10校) 質問と答弁の要旨

議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	答弁要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再答弁要旨
5	藤沢小学校	子どもの交流を深める場について	藤沢公民館をバドミントンや卓球などの室内運動を通して、子どもが交流できる場にしたと考えています。しかし、公民館の体育室を利用しようとすると利用料がかかるため、利用が難しい状況です。ほくたち子どもが利用しやすい公民館にするために、どのような考えがありますか。	小学生には小学校という学びの場がある一方で、地域の大人にとっては公民館が生徒にわたる学びの場となっています。他の市町村と比べても、深谷市の公民館は規模が大きく、維持管理に大きな費用がかかることから、利用者のかたから利用料をいただいています。現在、市内の各公民館では、さまざまな工夫をして子どもたちが気軽に公民館を利用できる取組を行っています。藤沢公民館では、体育室を開放し、自由に子どもや家族連れが運動できる日を設けています。また、夏休みには、子どもたちのために公民館の会議室等を利用して「夏宿〜ル・オアシス in 公民館」を開催しています。公民館には、児童室や図書室など、子どもたちだけで利用できる施設もあります。今後、子どもたちが気軽に公民館を利用できる取組を拡大できるよう検討していきたいと思っています。	生涯学習スポーツ振興課	教育部		
6	深谷西小学校	子供も楽しめる「広報ふかや」の発行について	私は「広報ふかや」を毎月読んでいますが、友達はほとんど読んでいません。深谷で暮らす多くの子どもも楽しめるような「広報ふかや」になってほしいと思います。例えば、「広報ふかや」の中に子どもコーナーを作れば、大人も子どもも楽しめる広報になり、多くの方が深谷に関心を持つと思います。子どもも楽しめる「広報ふかや」の発行について、何か取組の予定はありますか。	市としても、「広報ふかや」を通して市政に興味を持つ子どもが増えることは、大切なことと考えています。このため、「広報ふかや」は中学生が読んでもわかる内容を心がけて作成しています。また、「ふっかさんぼ」や「みんなの声」、レシピ紹介など、子どもから大人まで、幅広い世代が読みやすい内容のコーナーも設けるとともに、人権作文やありがたの手紙などで小学生の作品を多く紹介しています。議員ご提案の「子どもコーナー」は、「広報ふかや」を子どもたちに親しんでもらう1つの方法だと思っています。このほかにも、「広報ふかや」からピックアップした情報やクイズなど、子どもたちに楽しんでもらえる内容を取り入れた、子ども用の広報紙を作成する方法も考えています。今後、関係部署と協議しながら、実施に向けて検討していきます。	秘書課	秘書室		
7	幡羅小学校	小学生が自由に交流できる場所づくりについて	放課後や休日に、学校や公園で友達と遊んでいますが、天候が悪い日は学区内に遊べる場所がなく、困っています。学区内で小学生が使える場所としては公民館が考えられます。公民館施設の一部を「プレイルーム」として開放してもらえると、放課後や休日でも安心して友達と一緒に過ごすことができ嬉しいです。公民館の開放など、学区内で小学生が集まって遊べるスペースを作る計画はありますか。	小学生が勉強やスポーツをする場所として小学校がある一方で、地域の大人たちの学びの場所として公民館があります。深谷市の公民館は多くの機能を備えた大規模な施設であり、利用の許可を受けて、有料で利用することができます。議員の学区内にある幡羅公民館でも、日頃から地域の大人の方々にさまざまな目的で利用いただいているほか、図書室やロビーは誰でも利用できる場所として開放しています。また、教育委員会では、地域の子どもたちが気軽に公民館を利用できるよう、夏休みに「夏宿〜ル in 公民館」を開催し、宿題や自主勉強など学習の支援も行っています。今後、他の公民館での取組を参考にしながら、アイデアの検討を進めたいと思います。	生涯学習スポーツ振興課	教育部		
8	深谷小学校	外国人観光客を増やす取組について	新型コロナウイルスの位置付けが5類に移行され、訪日する外国人観光客も増えてきました。深谷小学校では、外国人観光客に深谷のことを紹介するため、洪沢栄一記念館で配布している外国人向けガイドブックを今年の修学旅行で外国人観光客に手渡しました。このガイドブックの作成は2015年とありますが、今後改訂版を作成する予定があれば、私たち深谷小学校の6年生も積極的に関わりたいと考えています。今後、改訂版を作成する予定はありますか。	洪沢栄一記念館では、外国人観光客が来館した際により良く学んでもらえるよう、資料室内の展示ケースに英語文のタイトルを付けて紹介しています。また、洪沢栄一関連施設や史跡を巡るための「論語の里ガイドアプリ」を多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)で使用できるよう工夫しています。現在のところ、英語版のガイドブック「ディスカバー深谷:深谷の三偉人と史跡めぐりのガイドブック」を改定する予定はありませんが、今後、新たな英語版を作成する機会があれば、皆さんにも積極的に関わっていただき、栄一翁の活動を多くのかたに広く理解してもらいたいと考えています。栄一翁は、実業家として多くの会社を作っただけでなく、国際親善・国際交流を積極的に行っていました。皆さんも栄一翁に倣って、海外に羽ばたき国際交流を行う大人になってほしいと思います。	洪沢栄一記念館	洪沢栄一政策推進部		

令和5年度子ども議会(小学生の部・前半10校) 質問と答弁の要旨

議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	答弁要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再答弁要旨
9	豊里小学校	深谷市の環境問題(ソーラーパネル)について	近年、SDGsの取組が注目されている中、ソーラーパネルは太陽光発電を実施するために欠かすことができないものです。深谷市でもソーラーパネルはよく見かけますが、深谷は自然が豊かなので太陽がよく当たらず電気が集まらなそうところも見かけます。公共施設や大型商業施設に設置できれば、太陽に当たりやすく、自然を壊さずに太陽光発電を実施でき、環境問題解決に近づくとお思います。深谷市では、ソーラーパネルの有効活用として、今後どのようなことを考えていますか。	ソーラーパネルをはじめとした再生可能エネルギーは、二酸化炭素を出さずにエネルギーが作れるので、再生可能エネルギーを広めることは地球温暖化の重要な対策になります。市では、庁舎をはじめ、多くの公共施設に太陽光発電システムの設置を進めています。例えば、豊里小学校の近くでは豊里分署に設置されています。大型商業施設では、昨年10月にオープンした「ふかや花園プレミアム・アウトレット」で400枚以上のソーラーパネルが設置されています。さらに、市では施設だけでなく、皆さんの自宅にソーラーパネルや蓄電池等、地球温暖化対策に効果のある設備を導入した場合に、設置費用の一部を補助する制度も実施しています。市では、今後もソーラーパネルの設置を進めていくので、議員においても身近なことから地球温暖化対策に取り組んでほしいと思います。	環境課	環境水道部		
10	桜ヶ丘小学校	みんなで行う公園清掃について	私は「地域の公園をみんなで掃除する」ということができたらいなと思います。私たち子どもにとっては、「使ったところをきれいにする」という体験は大切な学びになります。また、掃除で知り合った地域の人との仲を深めることもできます。多くの人が公園の存在を知ることにより、地域の目が行き届き、より安全で安心な楽しい公園となるのではないのでしょうか。地域にある公園を核として、人と人とのつながりを深める「みんなで行う公園掃除」について、市から呼びかけをしていく予定はありますか。	公園は、「皆さんの憩いの場」や「子どもの安全な遊び場」、「災害時の一時的な避難」に活用できるよう管理しています。皆さんが気持ちよく使っていただけるよう日頃から管理していますが、ごみのポイ捨てや落葉などにより、常にきれいな状態を維持することは難しいことです。議員ご提案の「みんなで行う公園掃除」という呼びかけは頼もしい考えであり、「使ったところをきれいにする」といった体験は一人ひとりの学びにつながっていくものと考えています。現在でも、地域のボランティア活動や自治会活動で公園内の清掃に協力してもらっていますが、小学生の皆さんにもさまざまな方法で呼びかけていくので、ご協力をお願いします。	公園緑地課	都市整備部		